

## 平成29年度第2回 運営推進会議開催状況報告書

提出日平成29年10月26日

|              |  |
|--------------|--|
| 事業所名         | デイサービスセンター笑楽房  |
| 開催日時         | 平成29年10月22日 午前10時0分～午前11時0分  |
| 開催場所         | デイサービスセンター笑楽房 フロアー(食堂兼機能訓練室)   |
| 参加者          | 利用者 0名 民生委員 1名 事業所職員 3名<br>利用者家族 2名 老人福祉委員 0名 町会長 0名<br>西院地域包括支援センター 1名  |
| 議題           | 運営状況、生活相談員の仕事<br>認知症治療薬について  |
| <b>会 議 録</b> |  |
| 運営推進会議について   | 今回も初参加の方がほとんどであったため、運営推進会議について説明する。事業所が地域に開かれたものになるため運営推進会議を開き、事業所への理解を深めていただき、地域での問題等さまざまな事について会議する。  |
| 運営状況         | 平成29年4月からの半年間が主に夏季での利用であったためご利用者の体調はおおむね安定し、熱中症予防の啓発もあり入院される方もなかった。<br>常に家族および担当ケアマネへ連絡する体制をとり、常に体調管理をおこなっていた。<br>事故および重大苦情もなかった。<br>9月現在で利用者36名 平均介護度2.1  |
| 生活相談員の仕事     | 生活相談員は日常業務である当デイサービスとデイサービスご利用の利用者様および家族様との窓口役となる相談業務等について説明する。また居宅介護支援事業所の担当ケアマネージャー様等、他機関との連携について守秘義務を踏まえての事例を紹介する。<br><br>日常業務について<br>(ア) 窓口としての役割 (問い合わせ・相談・苦情等)<br>(イ) 利用者様の通所介護計画書作成と説明<br>(ウ) 担当者会議への出席<br>(エ) サービス提供状況の管理<br>(オ) 利用者様の利用状況報告 |

(カ) 職員の技術指導、その他

他機関との連携について

事例紹介 1

独居で耳の聞こえが悪い A 様。ご利用日の朝、お迎え時連絡がつかず行方がわからなくなる。  
(担当ケアマネージャーとの連携)

事例紹介 2

独居の B 様。三人の娘様がおられる。認知症が進みその後施設入所される。その後財産問題が起こり利用者の利用当時のカルテの提出を求められる。  
(担当ケアマネージャー・および法律事務所との連携)

事例紹介 3

独居の C 様。近隣に住む娘様夫婦間で DV 問題が起こる。娘様はシェルターに避難し、行方を捜す娘婿は C 様宅・当サービスに再三訪ねたり連絡したりされる。  
(担当ケアマネージャーと各サービス事業者との連携)

認知症治療薬について

認知症治療薬の開発進み数年後には現在販売されているものと違い、認知症が治る薬が登場する可能性が高くなっているという開発の現状を看護師より説明。

参加者から要望・質問 特になし

次回運営推進会議の開催

平成 30 年 4 月開催予定

以上